



大分市立野津原西部小学校



学校の概要

校長 中村 斉
 所在地 大分市大字上詰704-1
 電話番号 097-589-2656
 FAX番号 097-589-2657
 ホームページアドレス <http://www.oct-net.ne.jp/~nth-sei1/>
 学級数・児童数 4学級 11名
 教職員数 9名

平成29年度 大分市立野津原西部小学校 学校教育グランドデザイン

憲法・教育基本法・教育関連法規 大分県及び大分市の教育ビジョン **【学校教育目標】** 地域・保護者・児童・教職員との

心豊かで 心身ともにたくましく 自ら考え 粘り強く実践できる子どもの育成

自信をもって取り組もうとする子 困ったときに助けを求められる子

最重点課題 3小学校統合へ向けた取組の推進～小中一貫教育を基盤として～

将来、子どもたちがたとえどんな環境に置かれたとしても、自分自身を見失うことなく、ものおしせず、新たな人間関係を構築することができるよう最大限の支援を行います。

考える子 よく考え学び合う	やさしい子 認め合い支え合う	たくましい子 最後まであきらめない
確かな学力の定着と向上	豊かな心の育成	体力向上と心身の健康保持
基本的学習習慣の形成	心育の推進	運動量の確保と運動の継続
○「野津原っ子の学び」に基づき、発達段階に応じて、学びに向かう力を向上させます。 ○問題解決力を育てます。	○授業をはじめ、豊かな自然、地域の歴史や伝統文化、地場産業を生かした体験学習等を通じて、豊かな心を育てます。	○全校で「ランランタイム」などに取り組むことで、心や体を鍛えることの大切さを体験を通して学び、自信をもたせます。
個に応じたきめ細かな指導	認め合い支え合い	健康の増進
○個に応じた学習指導を行い、やればできるという自信をもたせます。 ○スキルタイムや家庭学習を通じて、自ら意欲的に学ぶ姿勢を育てます。	○「花さきま」の取組などを通して、自分に自信をもたせ、自他を大切にできる子どもを育てます。 ○困りを周囲に伝えることができる子どもを育てます。	○家庭、地域、関係団体などと連携して、健康的で、安全な生活を送ることができるように最大限の支援を行います。

地域に開かれ 信頼される学校づくりを通して

特色ある教育活動

- 野津原中学校区小中一貫教育の推進（小中・小小連携）
 - 「聞く・話す・書く」力をつける指導の工夫
 - ・授業スタイルの改善（わかる授業の創造）
 - ・野津原学び方マニュアルの活用
 - ・家庭学習の系統的指導と内容の充実
 - 学習・生活規律の指導と心育て
 - ・「学習の5つの約束」「生活の3つのめあて」の徹底
 - ・ふれあい行事の推進（挨拶運動、ボランティア活動、野津原都々堂）
- 生き生き学習サポート事業
 - ・地域人材の活用による授業の充実 その道の達人に学ぶ
- 体力向上一校一実践 「全校らんらんタイム」
- ふれあい学びの広場推進事業（よつといで西部っ子）
 - ・地域住民との交流

生活時間

平成29年度 校時・週時程表

	月	火	水	木	金
朝の活動 8:15-8:30 (朝の歌を含む)	スキルタイム (国語)	スキルタイム (算数)	児童集会 発表集会 スキルタイム (月に1回ピーターパン)	スキルタイム (国語)	スキルタイム (算数) ※職朝
※朝の歌声(全校)					
8:30-8:40	朝の会				
1校時 8:40-9:25	1	2	3	4	5
2校時 9:30-10:15	6	7	8	9	10
10:15-10:20	ランランタイム				
10:20-10:30	中休み				
3校時 10:35-11:20	11	12	13	14	15
4校時 11:25-12:10	16	17	18	19	20
12:10-12:45	給食 12:40「ごちそうさま」				
12:45-13:30	星休み(水曜日は12:45-13:15)				
13:30-13:45	全校読書タイム(必要に応じて水曜日職会)				
13:45-14:00	清掃	帰りの会	13:30-13:45 5校時 13:45-14:30	清掃	
14:00-14:10	帰りの会		帰りの会	帰りの会	
5校時 14:15-15:00	21	22	23	24	25
6校時 15:05-15:50	26	27	一斉下校 14:40 職員研修 15:00	28 クラブ (年間6回) ※クラブのある時は、 金曜日6限と入れ替え	委員会① 補充授業② 西部っ子タイム③
下校時刻 16:00	企画委員会 (職員会議)		小教研の場合 13:00 (一斉下校)		

☆児童下校時間 (月、火、木、金) 16:00 (水) 14:40一斉下校

校内研究

1. 研究主題

学ぶ喜びを実感できる教育活動の創造
～伝え合い、学び合いのできる言語活動の工夫を通して～

2. 主題設定の理由

①現代社会における教育課題から

変化の激しい時代である現代、子どもたちは、これから将来、社会情勢の変化を的確に捉え、将来に向けて展望を描いていかなければならない。そのため、学校教育では、確かな学力をつけることが必須となっている。確かな学力を定着させるためには、主体的に学ぼうとする意欲が大切である。子どもたちの自己実現に向けて、生きる力の基礎となる部分をしっかりと身につけさせなければならない。

②学校教育目標から

本校の学校教育目標は、「心豊かで心身ともにたくましく自ら考え粘り強く実践できる子どもの育成」である。自ら考えることができるようになるには、確かな学力の定着と向上が不可欠である。学びに向かう力や問題解決力が育つことは、子どもたちが心豊かになることと関連している。少人数学級・少人数学校の特長を生かし、個に応じたきめ細かな指導を行い、できるという達成感を味わわせていかなければならない。それが子どもたちの自信につながる。

3. 研究仮説

学ぶ意欲を引き出す「めあて(課題)の設定、伝え合い、学び合うことができる「言語活動」の工夫、本時の学びを実感できる「まとめ(振りかえり)」の3点を意識した授業づくりを行い、主体的・対話的で深い学びの実現を図れば、学びに向かう力や自己肯定感を高めることができ、児童が学ぶ喜びを実感することができるであろう。